



2020年11月10日

各位

上場会社名 中部日本放送株式会社
代表者 代表取締役社長 杉浦 正樹
(コード番号 9402)
問合せ先責任者 経理部長 高城 浩史
(TEL 052-259-1322)

通期業績予想、剰余金の配当（中間配当）および配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年11月10日開催の取締役会において、2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議いたしました。また、2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2021年3月期の通期業績予想および配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	27,800	0	420	50	1.89
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	33,094	1,582	2,003	2,483	94.06

(2) 理由

2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき通期連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

依然として新型コロナウイルス感染症の収束は見通せないものの、経済活動が再開される中、当社グループに影響を与える広告市況につきましては、足元では回復傾向を見せており、当社グループの主力となるテレビスポット収入につきましても、同様の傾向となっております。上記の通期連結業績予想につきましては、この回復傾向が下半期において継続することを前提として算定しております。

なお、上記見通しは、国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲等の外的要因により大きく変動する可能性があり、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表します。

3. 剰余金の配当(中間配当)および2021年3月期配当予想について

(1) 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり配当金	5円00銭	—	5円00銭
配当金の総額	131百万円	—	131百万円
効力発生日	2020年12月1日	—	2019年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想		10.00 (普通配当 5.00) (特別配当 5.00)	15.00
当期実績	5.00		
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	5.00	17.00 (普通配当 10.00) (特別配当 5.00) (記念配当 2.00)	22.00

(3) 理由

2021年3月期の連結業績予想が未定であったことから配当予想につきましても未定としておりましたが、連結業績予想を公表したことに伴い、中間配当及び配当予想をあわせて公表いたします。

当社は利益配分に関しまして、安定配当の継続を基本とするとともに、毎期の業績に連動した配当を実施することといたしており、親会社株主に帰属する当期純利益(連結)の30%を配当性向の目安としています。なお、非経常的な特殊要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合等については、その影響を考慮し配当額を決定いたします。また安定配当性を維持するため、1株当たりの年間配当金は10円を下限といたしております。

2021年3月期の業績は大変厳しい見通しですが、利益配分における基本方針を踏まえ、1株当たり中間配当金を5円といたしました。また、期末の普通配当については1株当たり5円とし、これに前期に行った固定資産の譲渡等による譲渡益についての特別配当5円を加えて、1株当たり期末配当金は10円とする予定です。これにより、中間配当金と合わせた年間配当金は1株当たり15円となる予定です。

(注)業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上